

授業科目名	経済統計	単位数	4	開設期	後期
担当教員	河田 正樹	授業区分	現代経済学科		
対象学生	2年生	備考			

①授業のねらい・概要

新聞紙上では、完全失業率、消費者物価指数、景気動向指数、国内総生産（GDP）などといった経済データが連日のように記事となっています。この講義では、経済データの成り立ちや経済データを用いた簡単な分析を学び、日本経済や世界経済についての理解を深めるとともに、経済諸現象のデータを用いた分析をおこなうための基礎をやします。

②学習の到達目標

経済データの作成方法・特性を学ぶことによって、新聞の経済記事を理解できるようになります。経済諸現象について実証分析をおこなうための、データに関する基礎知識を得ることができます。

③授業全体のすすめ方・指示事項

PowerPointのスライドを用いた講義をおこない、講義の最後に練習問題をおこないます。スライドはハンドアウトを配布するとともに講義用HPに掲載するので、必要に応じて参照してください。

実際のデータとその分析例の紹介を積極的におこないます。講義時間中に実際のデータの閲覧や、データ分析をおこなうために、**ノートパソコンが必要な時**があります。持っていない人は用意してください。（用意できない場合は、やり方を覚えておき、後で自習することになります。）

関連する新聞記事のコピーを適宜配布し、解説します。

④授業計画

第1回	ガイダンス	第16回	中間試験
第2回	日本の統計制度	第17回	中間試験の解説・物価指数（1）
第3回	全数調査と標本調査（1）	第18回	物価指数（2）
第4回	全数調査と標本調査（2）	第19回	物価指数（3）
第5回	人口に関する統計（1）	第20回	物価指数（4）
第6回	人口に関する統計（2）	第21回	物価指数（5）
第7回	人口に関する統計（3）	第22回	物価指数（6）
第8回	人口に関する統計（4）	第23回	時系列データ（1）
第9回	労働に関する統計（1）	第24回	時系列データ（2）
第10回	労働に関する統計（2）	第25回	景気指標（1）
第11回	家計に関する統計（1）	第26回	景気指標（2）
第12回	家計に関する統計（2）	第27回	景気指標（3）
第13回	家計に関する統計（3）	第28回	国民経済計算（1）
第14回	家計に関する統計（4）	第29回	国民経済計算（2）
第15回	家計に関する統計（5）	第30回	国民経済計算（3）

⑤成績評価の方法

期末試験に加え、中間試験、レポートの合計点で評価をおこない、出席状況を若干加味します。

⑥成績評価の基準

成績評価の項目	具体的な内容と方法	評価割合（%）
定期試験（期末試験）	試験期間に期末試験を実施します。	50
レポートや提出作品の評価	レポートを2，3回予定しています。	25
平常点評価 （小テスト、発表、グループ作業の成果、授業態度）	出席状況などに応じて若干の加点・減点をおこないます。	加点・減点
その他（中間試験）	中間試験を実施します。レポートに代えることもあります。	25
合計		100

⑦教科書

使用しません。講義スライドのハンドアウトを配布します。

⑧指定図書・参考書等

佐竹元一郎 編著『経済の統計的分析』中央経済社 3,150円
 廣松 毅 ほか『経済統計』新世社 2,940円
 中村隆英 ほか『経済統計入門（第2版）』東京大学出版会 3,045円

⑨メッセージ

講義用HP (<http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada>) には、詳しい成績評価基準や、講義中に十分説明しきれなかったデータなど、有益な情報が数多く掲載されています。積極的に参照してください。
 データの面から日本経済をながめてみましょう。